

## 交通のご案内

### ◆ JR常磐線

#### 【土浦駅】

関東鉄道バス約15分  
阿見町中央公民館行(20分間隔)  
東京医大前下車  
徒歩1分

#### 【荒川沖駅】

関東鉄道バス約15分  
県立医療大学行(約80分間隔)  
東京医大前下車  
徒歩1分

### ◆ お車

#### 【常磐自動車道】

桜土浦I.C土浦方面  
↓  
中村陸橋下交差点 直進  
↓  
国道125号美浦方面

東京医大入口交差点 直進  
↓  
次の信号右折  
↓  
桜土浦I.Cから約6km 約10分



東京医科大学茨城医療センター

〒300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央3-20-1  
TEL:029-887-1161 FAX:029-887-6266  
<http://ksm.tokyo-med.ac.jp/>

## 看護職員募集案内

東京医科大学  
茨城医療センター

T.M.U. Ibaraki Medical Center



東京医科大学茨城医療センター

# 東京医科大学 茨城医療センター

MISSION 患者とともに歩む医療人を育てる

病院の理念 人間愛に基づいて患者さん中心の  
良質な医療を実践します

看護部理念 心に寄り添う温かな看護

## 看護部長挨拶

個人が専門性を高めていくための努力を日々重ね、組織は個々人のキャリアを支援する体制を整備しております。それは、私たちに託された全ての患者さんご家族に信頼される医療人であること、安全を保障した安心できる環境を提供することを目的としています。一人一人の確実な技術と看護への思いの集結、それが私たちの提供する看護の力であり、「心に寄り添う温かな看護」の姿です。

## 高度急性期から地域医療まで



許可病床数 501床 稼働病床数 398床  
ICU・CCU 8床  
入院基本料 7：1  
職員数 900名  
病院の機関認定

特色 地域医療支援病院  
肝疾患診療連携拠点病院  
地域がん診療連携拠点病院  
訪問看護ステーション隣接

東京医科大学  
茨城医療センター

東京医科大学病院  
(新宿)



東京医科大学

東京医科大学  
八王子医療センター





## 01 充実した教育環境

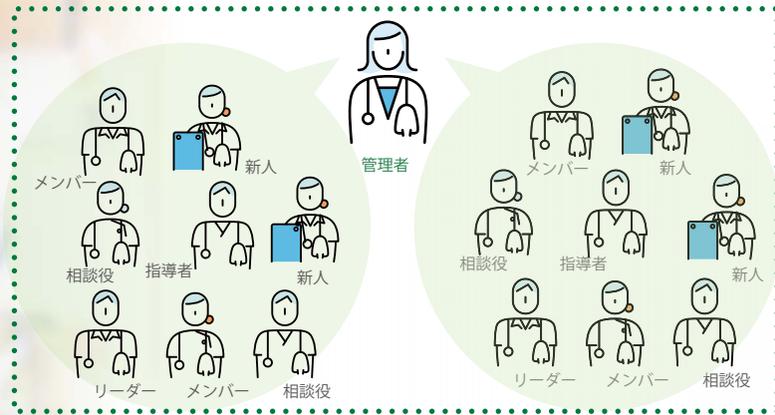
- ・新人教育スケジュールパスに則った教育
- ・eラーニングの活用
- ・新人教育専従者の配置

## 02 新人教育の支援体制チーム支援型教育

チームメンバーがそれぞれ役割を持ち、新人看護師の成長を共有し全力でサポートします。常に上級者とペアで行動し、技術と共に精神面でも支援していきます。

## 03 新人看護職員研修

病院の組織・医療チームの一員としての基本的態度と、基本的な看護技術が獲得できるように、集合研修を実施しています。



### 新人バッジ 新人の目印です！



重慶度  
医療・看護必要度研修

与薬  
患者誤認

オリエンテーション  
技術演習  
ストレスマネジメント

6 JUNE

5 MAY

4 APRIL

フィジカルアセスメント

7 JULY

採血

8 AUGUST

静脈注射研修

9 SEPTEMBER

グリーンケア

10 OCTOBER

フォローアップ研修  
シミュレーション研修

11 NOVEMBER

救急対応

12 DECEMBER

院内留学  
技術フォロー

1 JANUARY

2年目へ  
ステップアップ

2 FEBRUARY

3 MARCH

1年間の振り返り

夜勤シャドーイング開始

夜勤独り立ち

独り立ちに向け調整



# 将来の目標へステップアップ



## クリニカルリーダー

クリニカルリーダーを導入しています。集合研修、部署内での教育を通し、段階的に評価していくことで成長を支援します。



看護部が求める6つの力

- ①ニーズをとらえる力
- ②ケアする力
- ③協働する力
- ④意思決定する力
- ⑤教育・研究の力
- ⑥マネジメントの力

ラダー新人  
病院の組織・医療チームとしての基本的態度、基本的な看護実践

ラダーⅠ  
自立した看護実践  
実践能力の向上  
看護研究活動

ラダーⅡ  
実践能力の向上  
後進の育成とリーダーシップの発揮

ラダーⅢ  
組織における安全かつ効率的な看護実践  
後進の育成とリーダーシップ

ラダーⅣ  
組織における安全かつ効率的な看護実践  
組織の質向上に向けた実践

## 当院の教育の特徴

01

クリニカルリーダーの導入  
チーム支援型教育体制

02

スペシャリスト育成と  
支援体制

03

キャリア支援  
学習する環境

## シチュエーション ベースドトレーニング研修

臨床場面を設定し自ら考え学ぶ姿勢を養うことを目的とし、新人研修から取り入れています。



デブリーフィング※

デブリーフィング

## ▶ 新人看護師からのメッセージ

シミュレーション研修は、繰り返し実施するためいろいろな気づきがあり、また、みんなで話し合っって考え学んでいけるため、楽しく学習できます。現場では、先輩看護師が、チームでサポートしてくれるので、安心して仕事ができます。



シミュレーションチームが、研修をサポートします



※デブリーフィング：学習者が行動を振り返り、改善のための領域を議論し、新しい情報を以前の知識に組み入れるための場

# 個々に合わせたキャリア支援



## スペシャリスト支援制度

日本看護協会認定看護師 専門看護師 特定行為研修への支援  
 認定看護管理者研修（ファースト・セカンド・サードレベル）アドバンス助産師  
 実習指導者講習会 医療安全管理者養成研修への支援  
 などキャリア開発に向けた制度が充実しています。



摂食・嚥下障害看護  
認定看護師



皮膚・排泄ケア  
認定看護師

## 専門・認定看護師、特定行為研修修了者の専門性に応じた部署配置と活動状況

専門看護師	活躍の場	人数
急性・重症患者看護	病棟	1
母性看護	病棟/外来	1

認定看護師	活躍の場	人数
感染管理	感染制御部/病棟	2
糖尿病看護	病棟/外来	2
緩和ケア	組織横断的	2
摂食・嚥下障害看護	病棟	1
集中ケア	病棟	1
救急看護	病棟/外来	1
がん化学療法看護	病棟/外来	3
認知症看護	組織横断的	1
皮膚・排泄ケア	病棟/外来	2
乳がん看護	外来	1

特定行為区分	活躍の場	人数
感染に関わる薬剤投与関連	感染制御部	1
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	組織横断的	1
動脈血液ガス分析関連 呼吸器（人工呼吸器療法）関連	病棟/OP	1



# 就業環境

勤務体制  
変則 2 交代

日勤→夜勤で白衣の  
色分けをしています。



申し送り

点滴管理



看護ケア

## 病棟紹介

部署の課題を戦略  
マップで可視化する  
ことで目標達成を  
目指します。

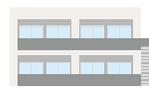


# 福利厚生



### 子育て支援

託児所「ひまわり」月～金  
育休サポートの実施（母性看護専門看護師との面談）  
育休カフェ開催



### 看護師寮

女子寮のみ 月額 5,000 円  
\*光熱費は個人負担



### スポーツ施設 利用券

自分の勤務に合わせていつでも利用



### その他

各施設の特別利用券配布  
夏季期間：プール等の夏季施設の利用料金一部補助  
国内宿泊施設の利用に、補助金の支給



育休サポートチームが、  
妊娠から出産後の復帰  
まで、支援します。



育休カフェ：復帰に対する不安解消や  
問題解決、ストレス発散などを目的と  
して情報交換を行う会



体位交換



申し送り



食事介助



看護ケア



巡視

財務	戦略マップイメージ	看護部理念:心に寄り添う温かな看護
<p>効率的な業務の推進・働きやすい職場</p> <p>看護が促される加算取得 による病院経営参画</p>	<p>看護職員の離職率の低減</p> <p>夜間日勤の適正化、ベッド稼働率UP 看護補助の成長による稼働増加（介護支援連携、巡回支援増強）、新人採用（ハイリスク）増</p>	<p>一心理的安全性が保てる環境下で経験豊かな看護師の育成を支援できる病棟作り</p>
<p>顧客 内部も外部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務の効率化・適正化</li> <li>職場内の信頼関係の構築</li> <li>情報共有の促進</li> </ul>	<p>「気軽に依頼 できる環境」</p> <p>看護職員としての成長する ことで職務意識の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別性を捉えた親しい看護</li> <li>業務の透明化</li> <li>多職種連携し、適正な看護体制を構築</li> <li>患者さまへの丁寧な</li> <li>看護に誇りをもてる体制の向上</li> </ul>
<p>業務 プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門性を生かした業務体制が できる体制作り</li> <li>誰でも取り組める業務作り</li> <li>分からないことも気軽に 相談できる体制作り</li> </ul>	<p>「心理的安全性」が保たれた 状況下で成長できる 働き作り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PCの活用によるケアからの 脱却、患者さまによるケアの成長</li> <li>「ファミリー」看護体制の構築</li> <li>認定看護師、認定看護技師 の活用</li> </ul>
<p>学習 と成長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーレス化の推進</li> <li>経験不足による不安状況の 解消</li> <li>研修参加（院内、院外）</li> <li>学業と仕事の両立</li> </ul>	<p>経験不足看護師育成のための心理的安全性 が確保された状況下で安心に成長 できる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ファミリー」患者の看護体制</li> <li>看護職員の育成</li> <li>認定看護師・認定看護技師の活用</li> <li>研修参加（院内、院外）</li> <li>学業と仕事の両立</li> </ul>